

Ⅲ 主要事項

第5 信頼できる年金制度に向けて

公的年金制度は国民の老後の安定した生活を支えるセーフティネットであり、国家プロジェクトである年金記録問題の解決に向けた取組を進める。また、持続可能で安心できる年金制度の構築に向け、基礎年金国庫負担2分の1を維持する。

1 年金記録問題への取組

1,073億円(1,113億円)

(1) 紙台帳とコンピュータ記録との突合せの促進

722億円(736億円)

年金受給者について、紙台帳等とコンピュータ上の年金記録の突合せを行うとともに、その結果について必要なお知らせ等を進める。

(2) ねんきんネットによる年金記録の確認

22億円(27億円)

これまでの解明作業によっても持ち主の分からない記録について、誰でもインターネットにより検索できるようにする。

※ 年金通帳については、「ねんきん定期便・ねんきんネット・年金通帳等に関する検討会」でその在り方を議論している。

(3) その他適用・保険料収納対策の推進等

329億円(350億円)

国民年金の適用・保険料収納対策、厚生年金の未適用事業所対策や保険料徴収対策を着実に進めるとともに、厚生年金基金の加入員記録と厚生年金の被保険者記録との突合せ等記録問題解決に向けた取り組みを行う。

2 日本年金機構が行う公的年金事業に関する業務運営(一部再掲・上記参照)

3,452億円(3,411億円)

日本年金機構で、国家プロジェクトである年金記録問題の解決に向けた取組を引き続き促進するとともに、将来の無年金・低年金者の発生を防止するための後納制度の円滑な実施、サービスの質の更なる向上や相談体制の拡充を行い、効率的かつ公正透明な事業運営に取り組む。

※ 「ねんきん定期便」について、インターネットで確認できるようにするとともに、郵便葉書での送付によりコスト削減を図る。

3 持続可能で安心できる年金制度の運営

10兆6,743億円(10兆3,755億円)

税制抜本改革により確保される財源を活用して、基礎年金国庫負担割合 2分の1の維持を図る。